

第七次甲府市総合計画説明会 会議録（朝日地区）

日 時	令和8年5月12日（火）午後7時00分～午後8時15分
会 場	朝日小学校体育館
参 加 者	111名（市長等及び関係職員含む）
次 第	1 市長説明 2 意見交換 3 地区からの挨拶
意見交換記録	
質問	<p>・南北の地域格差について</p> <p>朝日地区は山梨県の中でも少子高齢化が進んでいる地域であり、金融機関や商業施設の撤退、事業所の移転が進んでいる。南部地域では少子高齢化はそれほど顕著ではなく、様々な施設が進出しており、市内の地域間格差が顕著な状態になっていると感じる。こうした状況に対して甲府市はどういった見解を持っているのか伺いたい。</p>
樋口市長	<p>人口減少、あるいは少子高齢化が進行し、地域活力の維持などへの対応は、喫緊の課題であると感じている。地方創生に向け、人口の自然増はもとより社会増に繋がるように、多角的なアプローチを進めており、人口減少に少しでも歯止めをかけていくのが現実的な問題だと考えている。</p> <p>自然と歴史、文化の豊かさに恵まれた北部地域では、日本遺産の御岳昇仙峡や武田神社周辺などの整備を進めてきた。今年からは緑が丘スポーツ公園の第二期整備に加えて、観光地の高付加価値化の一つである、「信玄の湯 湯村温泉の再開発事業」への支援や、第七次総合計画に係わる様々な事業を展開していくことで、それぞれの特徴にあった「ひと」「まち」の活性化が図られるよう取り組んでいく。</p> <p>インフラ面では、新山梨環状道路の塚原インターチェンジの開通により、北部地域と周辺地域とのアクセス性が向上することで、利便性の高まりからエリアの価値向上が期待される。計画が着実に推進されるよう、関係市町等で構成する期成同盟会を通じて、早期開通に向けて働きかけていく。</p> <p>今後も、朝日通り商店街と甲府駅周辺の回遊性を高め、北部地域の活性化に結び付けていきたい。</p>

<p>質問</p>	<p>また、甲府駅とリニア駅との連携によるまちづくりを進めて、未来に向けても選ばれるまちとしていきたい。</p> <p>・いきいきサロンについて</p> <p>朝日地区の40%以上が65歳以上となっており、甲府市の平均は30%を上回っていることから、「いきいきサロン」への需要は高いと思っている。29の自治会がある朝日地区において「いきいきサロン」を設けているのは9つの自治会だけである。</p> <p>朝日地区の定例会の中で「いきいきサロン」のアンケートを行ったが、運営方法がわからず運営場所もない状況である。当自治会の中で他の自治会の「いきいきサロン」に参加している方もいたことから、垣根を下げ、いきいきサロンを共同で運営できるようにするなど、高齢者が気軽に参加できる方法を検討してもらいたい。</p>
<p>福祉部長</p>	<p>住民同士の交流等を通じて、孤独感の解消や、介護予防の促進等を図る「いきいきサロン」の設置については、おおむね単位自治会ごとの地域を基本単位としているが、地域の状況等を踏まえ、複数の自治会によるサロンについても、現在市内に6か所のサロンが活動している。こういった事例もあるため、ご相談いただければ設置方法などを考えていく。</p> <p>「いきいきサロン」は様々な地域課題があり、今年1月から3月にかけて自治会連合会協力のもと、「いきいきサロン」に対する地域住民の理解度や課題、設置に向けた意識状況などを把握するためアンケート調査を実施した。現在集計結果を分析しているところであり、結果を踏まえ、普及拡大や持続可能な運営ができるよう一緒に考えていきたい。</p>
<p>質問</p>	<p>・朝日地区の人口減少について</p> <p>私の居住している組の構成員は現在4世帯であり、単身赴任等で週末に甲府へ戻ってくる世帯もある。限界集落にほとんど近い状況であり、朝日地区では徐々に似た状況の地区が増えてきているのではないかとと思っている。</p> <p>そういった中、若い世代が居住できるような住宅施策や、若い世代を地域に呼び込むための考えがあればお聞きしたい。</p>

<p>まちづくり部長</p>	<p>空き家の整備などに取り組んでおり、空き家対策と言う観点から、空き家になった物件を早い段階で活用する取組の一つとして、「空き家バンク制度」、空き家を貸したい方、売りたい方、借りたい方、買いたい方をマッチングする制度を立ち上げている。その他、住宅を改修するにあたり、一定の基準を満たす場合には補助制度も設けている。人口減少対策はいろいろあるかと思うが、現状はその辺りに力を入れて取り組んでいるところである。</p>
<p>質問</p>	<p>・朝日小学校の存続等について 朝日小学校の新入生が12名。卒業生は27～28名と伺っている。このままでは朝日小学校の存続が危ぶまれる状況だが、この現状についてどう考えているか。</p>
<p>教育部長</p>	<p>少子化も甲府市全体で進んでいる状況であり、一部の地域では一定の児童数が確保されているものの、朝日小学校を含めた多くの学校では児童生徒数が減少していると認識している。 国における学校の適正規模は、学級数により設定されており、1校当たり「12学級以上18学級以下」と示されている中、本市においては、学区外から通学できる通学区域の弾力化制度や調整区域を設けるなど、一定の成果をあげることにより、学校規模の確保に努めている。 今後においても、児童生徒のより良い教育環境の確保を第一に、児童生徒数の推移を注視する中で学校の適正な規模の取組を慎重に検討していく。</p>
<p>質問</p>	<p>・道路標識の設置について 私の自宅の前の通りを、朝7時から9時までの間、制限速度が20kmのところ、速度40～50kmほどで通過していく。交通規制をかけることは時間がかかるため、速度制限標識を目に見える位置に立ててもらいたい。</p>
<p>市民部長</p>	<p>道路に関する要望については、内容により、本市のほか、道路管理者である山梨県、または、道路交通法に関わる規制については所管している警察署でなければ対応できないことに</p>

	<p>なっている。道路標識については規制に関することになるため、所管する甲府警察署に要望を伝える中で、対応できるものは対応していただくことになる。警察署に連絡をした際の、結果等を共有させていただく。</p>
<p>質問</p>	<p>・相川の河川敷の整備について</p> <p>相川は河川敷清掃が中止になり、高齢化が進み少ない人数で、大きい敷地をいただいている。ここに荒川並みに多様化した公園をつくって欲しい。スポーツ広場、多目的広場、また、ペタンクやグランドゴルフ等、高齢者が楽しく使える、安全で安心な場所、そしてサイクリングロードの設置について検討してほしい。</p>
<p>まちづくり部長</p>	<p>河川については、第一に大雨を安全に海まで流すという重要な役割を持っている。川幅が広く、通常時の水面よりも一段高い、高水敷と呼ばれる平坦な空間があり、安全を確保できる河川については、憩いの場として活用されることがある。</p> <p>相川については管理者が山梨県となるため、まずは雑草の繁茂など現在の状況を県に伝える中で、安全・安心な河川の利用ができるよう働きかけていく。その上で、多目的広場等に関する要望についても共有していく。</p>
<p>質問</p>	<p>・少子高齢化への対策について</p> <p>少子高齢化が進んでおり、歯止めがきかないという状況になっている。県内の人口も減少が続いているが、南アルプス市にコストコができたことや、昭和町にイオンモールができたことで、魅力あるまちというイメージで人口が増えている自治体もある。甲府でも、人が集まるような施設や民間企業の誘致、中心部の再開発など、抜本的な取組を考える必要があると思うが、考えを伺いたい。</p>
<p>樋口市長</p>	<p>企業誘致について、山城地区や中道地区に来てもらえるよう長年働きかけており、国母工業団地に入りたいという声もあるため、そういった企業を見つけていく。</p> <p>加えて、AIやDXを活用し発展するスタートアップ企業とのマッチングも進んでいるため、甲府らしい就業の増加や企業</p>

	<p>誘致を進めていく。</p> <p>市町の枠を超えた形で人口減少を食い止め、12の市町で首都圏に人が流出しないよう、また、リニア駅が完成したらその効果を全てのエリアが享受できるよう、まちの成長や変化の中で動いているので、そうした変化をしっかり捕まえて、第七次総合計画の中で、少しでも右肩上がりになるよう努力してまいりたい。</p> <p>また、旧岡島百貨店跡地の再開発も重要であることから、新たな街並み形成に寄与するようなまちづくりをしていきたい。</p> <p>ご意見いただいた地域課題については、それぞれ担当部長が申し上げたとおり、調査をしながら回答できるようにしていきたい。</p> <p>空き家対策などの様々な施策を実施しないと、若者の減少や側溝清掃ができないなど、多岐にわたる課題があるが、何とか乗り越えていかなければならない。特にまちなかでは、自治会を統合するためにどうしたらいいかなどの声もあると聞いているので、市民部を中心に、相談をさせていただきたい。</p> <p>貴重な市民の声をお聞かせいただき、ありがとうございます。</p>
<p>地区からの挨拶要旨</p>	
<p>朝日地区自治会連合会会長</p>	<p>本日は第七次甲府市総合計画説明会を開催いただきありがとうございました。</p> <p>また、ご多忙の中ご説明いただいた樋口市長を始め、関係の皆様に対し、地域を代表して心より感謝申し上げます。</p> <p>今回の総合計画は、これからの甲府市のまちづくりの指針となる大変重要なものであり、私たち一人一人の暮らしに深く関わるものと受けとめている。</p> <p>少子高齢化の進行や地域コミュニティの変化、防災に係る対応など、多くの課題がある中で将来を見据えた計画が示されたことは大変意義があるものと感じている。</p> <p>一方で、この計画を実りのあるものにしていくためには、行政だけではなく、私たち市民一人一人の理解や協力が欠かせないことも、重々承知している。</p> <p>地域の実情や声を大切にしながら、ともに考え、ともに行動していくことが重要であるとも考えている。</p> <p>本日伺った内容を、地域で広く共有することで、今後のまち</p>

	<p>づくりに主体的に関わっていきたい。 そして、誰もが安心して暮らせる魅力ある甲府市の実現に向けて、私たちも協力してまいりたい。</p>
--	---